

事業所名 グループホームほっと

運営推進会議開催報告書

開催日時 令和元年 9月 27 日（金） 14時 ～15時		
参 加 者		議 題
利用者家族	3名	1) 活動報告 2) 外部評価目標達成計画 3) 身体拘束の適正化についての委員会 4) 事故報告 5) 質疑応答・意見交換
地域住民の代表者	1名	
市職員	2名	
地域包括支援センター職員	1名	
事業所	4名	
その他（利用者）	4名	
会 議 録		
・ホームで毎日行っている「元気のでる体操」に全員で参加して頂き、見て頂く 1) 8月の活動報告 8/1 フラダンスボランティア（悠游荘より5名参加） 8/18 利用者2名の合同誕生日会（家族2名参加） （手作りのティラミスカップケーキでお祝いする） 8/21 避難訓練（震度4の想定） 新人職員も参加して火災実通報を行う 8/24 夏祭り（夕方より裏庭にて竹の水鉄砲・花火で遊ぶ） ところてんを食べて終了する その他 散歩、ドライブ、買い物、季節の作品作り ・9月の活動報告 9/10 訪問理容（全員） 9/14・15 瀬戸物祭り（イベントに参加しお祭り気分を味わう） 夜間は花火を鑑賞する 9/16 敬老会と卒寿のお祝い（利用者2名卒寿を祝う） 利用者とプレゼントのフラワーアレンジメントを生ける 利用者とおはぎを作る		

2) 外部評価結果に対しての目標達成計画について

1、地域の方々にも参加して頂きボランティアを受け入れていく

予定としては10月にマジックショー オカリナ

2、職員の介護技術及び知識の向上に努める

・毎月テーマに沿って社内研修を実施している

8月・・・身体拘束マニュアルと昨年の資料に基づいて再確認する

9月・・・介護保険の知識（権利擁護）

3) 身体拘束廃止に向けた体制作り

・身体拘束廃止委員会の設置

運営推進会議の参加者に身体拘束の現状を報告する

現在は拘束対象者はいない。1名ベット下に防犯用のセンサーを設置している

4) 事故報告

8/13 男性 転倒 体調不良のため1週間程 車いすを使用していたため
下肢筋力が低下していた。シルバーカーでの歩行するも見守りが不十分であった

8/16 女性 ベットの横で尻餅をつく。夜間他利用者の就寝介助をしている
ところ。センサーは鳴らなかった。頭の方から降りた可能性が高い
センサーを頼るのではなく時々は見に行く

8/26 男性 転倒 トイレ時シルバーカーの方向を変えようとしてバランス
を崩した。職員の見守り不足。見守りを強化する

9/1 男性 転倒 トイレ時、体の向きを変えようとバランスを崩す。見守
りを強化する

9/10 女性 職員の服薬時のミス。粉薬と錠剤をヨーグルトに混ぜて飲まし
たが錠剤のみに飲みきれずテーブルに置いてあった。日勤者が気が付
き薬を確認したうえ服用してもらった

9/14 女性 転倒し、大腿骨骨折にて入院。あまり仲の良くない利用者同士
での間のトラブルで間に入った職員が止めきれず転倒した

5) 質疑応答と意見交換

・職員・・・転倒事故報告が多い。ほぼ夜勤者一人での早朝に多く発生している
がどうしたらよいか

（市職員・・・転倒はなかなか避けきれない場合が多いが、大事なことは、職員同士
原因、改善対策などを話し合うことが大切。）

・家族・・・災害が起こった場合は自宅に戻ってきますか？

（職員・・・状況にもよるが、自宅にもどることは利用者也混乱するし、慣れない避
難所も混乱するので、ほっとの方が安全だと思う。むやみに動かな
い方が良いと思う（ほっとは市の福祉避難所に指定されているので
比較的安全だと思う）

・市職員・・・避難訓練の状況は？

（職員・・・年1回は夜間想定をしている。避難経路を説明する）

